

森湯谷エドヒガン桜周辺整備事業

問題点

- ①受入体制ができてない。
 - 駐車場がない ●トイレもない。
- ②そのため周辺住民が迷惑している
 - 道路駐車が連なり危険である。
 - トイレがなく立ち小便。
 - 背後の田の畔の破壊と危険。
- ③維持管理ができない状況である
 - 所有者が維持管理できない状況
 - 保存体制もない。



解決方向・方針

困っている周辺住民だけで解決は無理。
⇒振興区が対応

- ①所有地を（財）八幡会で取得。
- ②振興区が段階的に整備する。
- ③保存会組織の立上

第一期事業

- ①地元にとっての問題解決
 - 駐車場造成整備（25台程度）
 - 仮設トイレ設置（2基）
 - 農地への階段、手すり設置等計375万円
(草刈、樹木伐採は地元対応)

第二期以降事業

- ①桜保存のための対応
- ②観光客増加対策

約750万円

効果

- ①周辺住民の問題解消
- ②観光客受入整備
- ③宝再認識と保存体制整備
- ④住民交流と活性化



設立した保存会による出店



新設された階段・手すり



整備された駐車場

